

# 石狩湾とはどういう海か、そして風車 —暖流、寒流、河川水、それらの育む生態系 および風力発電事業による二つの影響

石狩湾は日本海の北部に位置し遠浅で開放した形状です。沖からは暖流と寒流が季節的に交替して流入し、沿岸域では石狩川河川水が北に広がりますが、流れは潮汐や風に大きく左右されます。海底では砂地が広がるとともに岸には砂浜と岩礁がみられ、それぞれに特有の生態系が形成されています。これらの情報をもとに、海底を掘削する風力発電機の設置および風のエネルギーを使う発電が生態系にどのような影響を与えるか考えてみましょう。



◆日時：12月12日(土) 13:30~15:30

◆場所：石狩市花川北コミュニティセンター2階

視聴覚室 (石狩市花川北3条2丁目 ☎ 0133-74-6525)

◆講師：河野時廣氏(東海大学生物学部海洋生物学科教授)

◆費用：500円(資料代ほか) ※マスクの着用をお願いします。

主催・問合せ 石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 安田 ☎ 090-6211-1602